

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立岡山一宮高等学校
実践場面	学校設定科目「iC 課題探究 α」中間発表会
実践日時（時期）	令和7年12月12日（金）午後
対象生徒（学年）	普通科2年生 課題探究グループ（中間発表会）
連携の形態	■その他（産学連携コーディネーター） ※（株）ビザビヒューマンリソース局課長土井原氏によるセミナー
学びの分類	■講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 ■その他

実践の内容

【内容】

- 普通科2年生の「iC 課題探究 α」の中間発表会で、生徒たちが考えた探究テーマや解決の道筋について、参加者全員で質問を交しながら学びを深めた。各発表の最後には、大学教授による評価・コメントもあった。
- 経済分野で商品パッケージやポップに関する探究活動をしているグループに対し、産学連携コーディネーターの連携サポートを経て、株式会社ビザビ・ヒューマンリソース局課長の土井原氏から直接アドバイスをいただいた。
- 広告制作におけるフォントや色、背景など、「情報の伝え方」についての専門的な指導をしていただいた。



【経緯】

グループは、10月18日（土）に天満屋岡山本店で行われた「オールおかやま商工会マルシェ」にて、企業紹介のポップを試行錯誤しながら制作するなど、産業界と連携した実践的な活動に取組んできた。



【セミナー内容】

- ・広告事業についての業務内容
- ・情報誌を制作する上での読者ターゲットの視点と表紙デザイン
- ・ポップ作成やInstagram投稿のポイント
- ・広告の目的化やわかりやすさ



【産学連携コーディネーターのサポート】

産学連携コーディネーターが、事前に学校訪問を行い、商工会マルシェに参加した探究グループと進捗状況について確認を行った。生成AIに関する探究グループに対しては、論文検索の方法や中間発表に向けた助言をした。ポップ作成探究グループに対しては、Canvaを活用した広告作成の方法やねらいに関する助言を行った。



実践による効果等

生徒は、直接、企業の方と対話をすることで、探究課題を深めることができる貴重な機会となった。こうした活動を通じて、生徒からは、「実際に企業と連携することで、新しい視点で自分たちの調べていることを考えることができた。」「広告を作る時に意識することは、ターゲット層を決めるこことや表紙のデザインを工夫することだと気づくことができた。」とコメントがあった。